

## 質問をお寄せください！

新しい学校に関するご質問を、メールまたはお電話でお寄せください。

可能な限り、広報紙面で回答します。そうすることで、ほかのマチの皆さんにも理解を深めていただく機会とさせていただければ幸いです。

メールの場合は、ご住所とお名前、メールアドレス以外の連絡先を記入してください。

※個人情報情報は、紙面で公開されません。

**問1** 現在、埼玉県の公立中学校で勤務しています。復興のシンボルとして、安平町が取り組まれているみんなの学校づくりに興味があります。令和5年度の開校にあたって、新規教職員の募集は考えていますか？

**答1** 現在建設中の学校は公立（町立）の義務教育学校です。採用は北海道教育委員会が行うため、町教育委員会では独自に行っていないことをご理解ください。当町の取り組みに共感いただきありがとうございます。

**問2** PTA活動はどうなるの？

**答2** 現在早来地区の各小・中学校のPTA役員会の中などで検討を進めています。「今まで通りの仕組みで新しい学校に導入する」・「これを機に廃止する」・「別な形に変える」など多角的な検討をしている最中です。

**問3** 新しい学校は義務教育学校になります。これまでの小・中学校の教育内容は、どう変わるのですか？

**答3** 義務教育学校は制度上、独自のカリキュラムを導入することも可能ですが、転入学なども想定されますので、現段階で大きく変える予定はありません。

引き続き、当町の生涯学習計画（教育大綱）の重点として掲げる子どもを主体とした（子どもの社会参画を基軸とした）「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していきます。

**問4** 新しい学校（施設）で行われる授業などの活動はどうなりですか？

**答4** 次のような大きな特徴があります。  
・教室の広さを従来の1.5倍から2倍確保することで、多様な

教育方法に対応できるようになります。

・大型のプロジェクトとホワイトボードを設置することで黒板を無くし、すでに児童・生徒へ一人一台配られているiPad等によりICTを積極的に活用し、主体的に学べる学習環境となります。

・中学校段階では、国語や数学などの教科も専用の教室を用意することで、教科の魅力を活かした授業を展開できるようにします。

これらの特徴のある教育環境の中で、文部科学省が日本のすべての学校で実現を目指す『個別最適な学び』と『協働的な学び』により、児童・生徒の皆さんがより主体的に対話的な学習を通じて、より深く学ぶことができるかと期待しています。

**問5** 具体的な行事の内容はどのように考えていますか？

**答5** 具体的な内容は現在検討を進めています。町や教育委員会の基本的な方針としましては、子どもを主体とした社会参画を促していきたいと考えていますので、行事のみならず普段の授業等の諸活動においても、子どもたち

の「やりたい」と先生方の「支えたい」をすべて叶えることができない施設環境を提供していきたいと思っています。

**問6** 素晴らしい施設環境が提供されると仮定したとき、そこではどのような力が子どもたちに育つと考えていますか？

**答6** 児童・生徒の興味や好奇心を育み、それに支えられた知識や技能、思考力や表現力、対話力等の資質・能力を培うことができるかと考えています。そのうえで、「自ら世界を拓げる力」・「未来に向かって挑戦する力」・「互いの良さを認め合う力」といった生涯にわたってともにたくましく生きていける力を育むことが目標です。

また、「安平町で学び育つことができ良かった」と思っていただけのように努めていきますので、保護者や地域の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。